

安曇野市消防団組織に関する建議書
回答書

令和 8 年 3 月

安曇野市

貴職におかれましては、平素より当市消防行政に多大なるご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

また、過日は安曇野市消防団に関し、建設的なご提案を賜り、重ねて感謝申し上げます。

昨今の消防団を取り巻く状況は、少子高齢化の進行、若い団員の減少、価値観の変化及び共働き世帯の増加などの影響もあり、消防団員数が大幅に減少する危機的な状況となっています。

一方で年々、自然災害は多発・激甚化しており、市民の生命・身体・財産の保護のため、地域防災の要となる消防団員一人ひとりの担う役割はますます重要となっています。

こうした状況の中、当市におきましては、地域防災力の充実・強化を図るため、人口減少・少子高齢化という社会情勢や住民意識の変化に適切に対応し、効果的で持続性のある対策に努めて参りたいと考えています。

社会環境が変化していく中でも、消防団の存在意義が不変であり、引き続き地域防災力の中核として、消防団という存在が継承されますよう、消防委員会の皆様には消防団経験者の代表として幅広く意見・要望を汲み上げていただき、市政にご助言をいただければ幸いです。

今回の建議書にあります事項は、市としても従来にも増して取り組んでいかなければならない課題と考えております。

今後も相互に連携し、安曇野市消防団により一層のお力添えを賜りますことをお願い申し上げ、いただきました建議書に対しての回答書といたします。

令和8年3月31日

安曇野市消防委員会
委員長 百瀬 一孝 様

安曇野市長 中山 栄樹

1 消防団員確保対策について

○現状・課題	
消防団は、地域の消防防災体制の中核的役割を果たす存在ですが、全国の消防団員数の減少は顕著です。また、若年層の減少や価値観の変化、世帯構成の変化も若年層の消防団加入率の低下に繋がっていることは明らかです。 しかしながら、近年は災害が多発化・激甚化しており、地域住民の生命・身体・財産の保護に向け、消防団の役割が一層重要となっています。 このような状況を踏まえ、地域防災力の維持と充実を図るため、人口減少・少子高齢化という社会情勢や住民意識の変化に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制の確立に向けた機能別消防団員制度の導入が全国的に広がっています。	
○意見・提案	○回答
1 消防団員経験者を中心とした機能別消防団員制度の導入 安曇野市消防団規則第3条で定める消防団員定数割れの状況を踏まえ、基本団員の諸活動を補完するものとして機能別消防団員制度の導入を検討されたい。 特に、消防団経験者については平日昼間の初期消火活動・常備消防の後方支援、行方不明者捜索及び水防活動・住民避難誘導の際に長年の経験を生かした活動が期待できることから消防経験のある機能別団員の確保を積極的に検討されたい。 併せて、家庭・仕事の都合により活動が困難などの理由で消防団未加入の市民に対しても活動範囲が制限的な機能別団員の加入促進を検討されたい。 なお、機能別消防団員制度の導入にあたっては機能別団員の出動報酬等の処遇を適切に行うため予算の確保並びに例規の整備も検討されたい。	1 消防団員経験者を中心とした機能別消防団員制度の導入 機能別消防団員制度の導入につきましては、消防団員の負担軽減の観点からも有効な施策と考えています。 本制度の導入については消防団幹部等と調整を行いながら令和9年度を目標に取り組んでいきたいと考えています。 なお、近隣市においても市内全域を対象とした機能別消防団員制度の導入実績はないことから、条例定数の充足率が低い地域に試行的に導入して課題等を整理・把握し、必要に応じて他地域への拡大を検討してまいります。

2 音楽喇叭隊・女性消防隊の機能別消防団員制度の導入の検討

音楽喇叭隊と女性消防隊のあり方については、平成 25 年 5 月第三次中間答申にて本委員会から述べている。

それから約 10 年が経過し、消防団を取り巻く社会環境・構造は変化し、他自治体では、予防啓発活動、救急啓発活動といった火災現場に出動しない団員が、機能別消防団員として消防団組織を支える状況である。

安曇野市消防団の音楽喇叭隊・女性消防隊においても現状の活動状況に見合った機能別消防団員制度の導入を検討されたい。

なお、音楽喇叭隊・女性消防隊については各地域の分団の組織体制維持のためにも機能別消防団員と基本団員の兼務についても柔軟に対応することを検討されたい。

また、機能別消防団員導入に伴い、従来の団員が不利益を受けないように十分な配慮を求めたい。

2 音楽喇叭隊・女性消防隊の機能別消防団員制度の導入の検討

音楽喇叭隊と女性消防隊の機能別消防団員導入については、消防団幹部、音楽喇叭隊、女性消防隊から意見を聞きながら検討していきたいと考えています。

なお、機能別消防団員導入する場合、音楽喇叭隊及び女性消防隊の各団員への手当等につきましては、県内各市の状況を整理した中で、あらためて調整を行う予定です。